



# 音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之  
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <https://nichionkyou.org> Email [nichion@yomogi.or.jp](mailto:nichion@yomogi.or.jp)

## 音楽祭出演申込は7月30日まで

第25回参議院選挙も7月4日公示、7月21日投開票となり、読者の皆さんも忙しい毎日をお過ごしのことと思います。  
日音協においても、第52回はたらくもの音楽祭(秋田音楽祭)成功に向け、取り組みを進めてい

るところです。  
秋田県実行委員会から、実行委員会ニュースが送られてきておりますので、紙面で紹介させていただきまします。  
皆さん、秋田音楽祭でお会いしましょう。

【再掲】  
第52回はたらくもの音楽祭(秋田音楽祭)の出演申込は、7月30日(火)がエントリーの切です。出演団体(者)、代表者、連絡先、演奏時間と出演希望日(ある場合)を明らかにして申し込んでください。

2019年6月18日

音楽祭実行委員会ニュース

第2号



●会場の秋田県児童会館 けやきシアターの客席(上)と舞台(下)



### みんなの想いをひとつのうたにこめて

#### 第二回実行委員会開催 各種要請の提案

五月二十九日、第二回音楽祭秋田県実行委員会が「フオーラム秋田」で開催された。冒頭、黒崎実行委員長に代わって藤井事務局長から「7月の参議院選もあり時間のない中での準備が必要であり、優先順位を付けながら進めていきたい」とのあいさつがあった。次に佐藤正和事務局長より昨年の音楽祭実行委員会結成から現在「

至るまでの活動経過が報告され、引き続き村岡厚史副実行委員長から「これからの活動」



#### 第五十一回はたらくもの音楽祭 音楽祭実行委員会ニュース

第2号  
2019年  
6月18日  
発行者  
大嶋忠男

#### 音楽祭までのスケジュール

- ポスター・チラシ作成 6月末
- 広告募集の要請 支部加盟労組・各団体 6月20日
- 参加者・スタッフ要請 支部加盟労組 7月22日
- ポスター・チラシ配布 支部加盟労組・各団体 7月22日
- 参加者・スタッフ集約 支部加盟労組 8月下旬
- 第3回実行委員会 8月下旬
- 音楽祭前日の準備スタッフ 9月14日

#### 第52回音楽祭記念CD制作中

日音協秋田県支部では音楽祭開催に向けた準備と合わせて、音楽祭記念CD作りに取り組んでいます。秋田県支部活動家の平均年齢は、60歳中ごろ。音楽運動の円熟期を迎えているところで、(若い人もおります。誤解のないように)そのメンバー全員でとり組んだCDです。緊張感の中での収録は大いに刺激になりました。制作担当の後藤雅裕さんを中心に、今年1月から取り掛かり現在全曲の9曲収録が完了したところです。この後、音源を管理する藤原真栄さんによって編集作業に入ります。音楽祭と合わせてお楽しみにしてください。



●CDのジャケット(予定)

した。それに対し●音楽祭ポスターのデザインにイメージ合わせを早々に。●スケジュールの明確な周知を? 実行委員会ニュースなども利用し周知する。●音楽祭一日目終了から交流会会場への移動方法は? マイクロバスを準備しピストン移動で対応。●第三回実行委員会は、八月下旬に開催。なお、それまでに、会議の必要が生じた場合は、開催していくことには、理解を願います。

秋田県実行委員会の第2号ニュース

被爆74周年原水爆禁止世界大会・福島大会について(お知らせ)

- 日時 2019年7月27日(土) 12時開場/13時開会/14時10分~16:00シンポジウム・特別分科会/16時終了後、デモ出発
- 会場 福島県県教育会館 大ホール(全体集会、シンポジウム)、2階会議室(特別分科会) JR福島駅から徒歩20分 \*会場には駐車はできません。
- 主催 原水爆禁止日本国民会議(原水禁)
- 規模 600人

\*日音協としての演奏の機会はありません。

日程  
2019年9月15日(日) ~  
9月16日(月・祝)

会場  
秋田市・秋田県児童会館(けやきシアター)

テーマ  
つなげ! みんなの想いをひとつのうたにこめて

(編集部)

# 秋田に向け別荘で合宿



今日も元気に集合写真

F Mカンパニーは、6月22日秋田祭典に向けての創作曲を決めるため札幌から車で1時間半の石狩市厚田区の山奥にある別荘で合宿をおこなった。実はこの別荘、日本の大手の某コンビニチェーンのお偉いさんがバブル時代に建てただけあって、1階は車庫の3階建て、リビングは30帖、寝室は5部屋、風呂2つ、総床暖となんとも贅を尽くした代物だ。しかも山道を走って奥深い森林の中であって、テレビもドコモの携帯も繋がらない？ これでは集中して合宿ができるはず。(1月の合宿は大坂なおみの全豪決勝でテレビにくぎ付けだったからなあ) さて、豪邸内をひとしきり見学した後、午後2時から早速各自が作ってきた創作曲の発表と講評をみっちり2時間行った。選考は翌日にとすることとして夕刻からは車庫でBBQを開始し一気に宴会モードに突入した。

まあその後はお酒をいっぱい飲み小生の記憶も断片的なのだが、30帖のリビングは反響も良く歌が上手くなったような気分なのは覚えている。

さて、昨晚からの雨もあがり、広い別荘ではイビキで悩まされることもなく迎えた清々しい翌朝。祭典での発表曲の選考会を行い、F Mカンパニー2曲(生きる、明日はハレルヤ)、ノーサイド2曲(ごめだぜい、うたっていいんでないかい)を決定した。さてこれから2ヶ月かけ曲を完成させ秋田で披露しますので、お待ちください。好評だったこの別荘。8月にも総仕上げ合宿を行う予定にしている。(ちなみにこの別荘、300万円で売ってもいいとオーナーが言ってるらしい。買いたい人は連絡ください)

追伸、食材とお酒が余ったので、自宅に帰って昼から我が家のテラスでブービーと佐藤会長で反省会というBBQを決行してしまった。本当に懲りないメンバーである。  
(磯野 宏之)



吹き抜けのリビングでの演奏



別荘の正面写真(これが300万で…)



発表曲選考会の様子



アレ！私は誰でしょう？  
(別の場所での一コマでした)

# 日本音楽運動の歩み 1964年～2019年 3部編 FMカンパニー 笠木さんが編集

完全退職してから、ほぼ一年があつという間に過ぎてしまった。思い返せば、70年代に音楽運動に出会い、みんなで歌うのが楽しくて、ギターを抱えいつでも出かけていった。とにかく走った。若かった。途中、出会いと別れもあり、思い出したくもない挫折も味わった。

足を洗ったつもりでいたが「たまに一緒に歌いませんか」と声をかけてくれたのは、日音協のみんなたちであつた。

今回まとめた「日音協年表」は今年1月から作り始め半年かけ完成した。

「音楽運動」の創刊号からすべて読み返してみた。自分が運動から離れていた時代に若い担い手たちが生まれ、新しい曲づくりが始まっている。

労組主体の音楽祭や集会は、今や国会前行動や沖縄行動にみられるように、より現場にあつた形を持ち寄り、変化に順応した活動が続いている。しかも生き生きと。今後においても困難に出会うだろうが、そんな時「この歩み」を見てほしい。

そこには「積み重ねられた歴史がある。きつと自信と勇気を与えてくれるにちがいない。」

2019年6月

笠木 博逸

## 日本音楽運動の歩み

# On the road ①

～ 積み重ねられた歴史 ～

1964年～1970年代

笠木さんが、半年かけて「日音協の歩み」を編集しました。

使命感なのかよっぽど暇なのは分かりませんが。

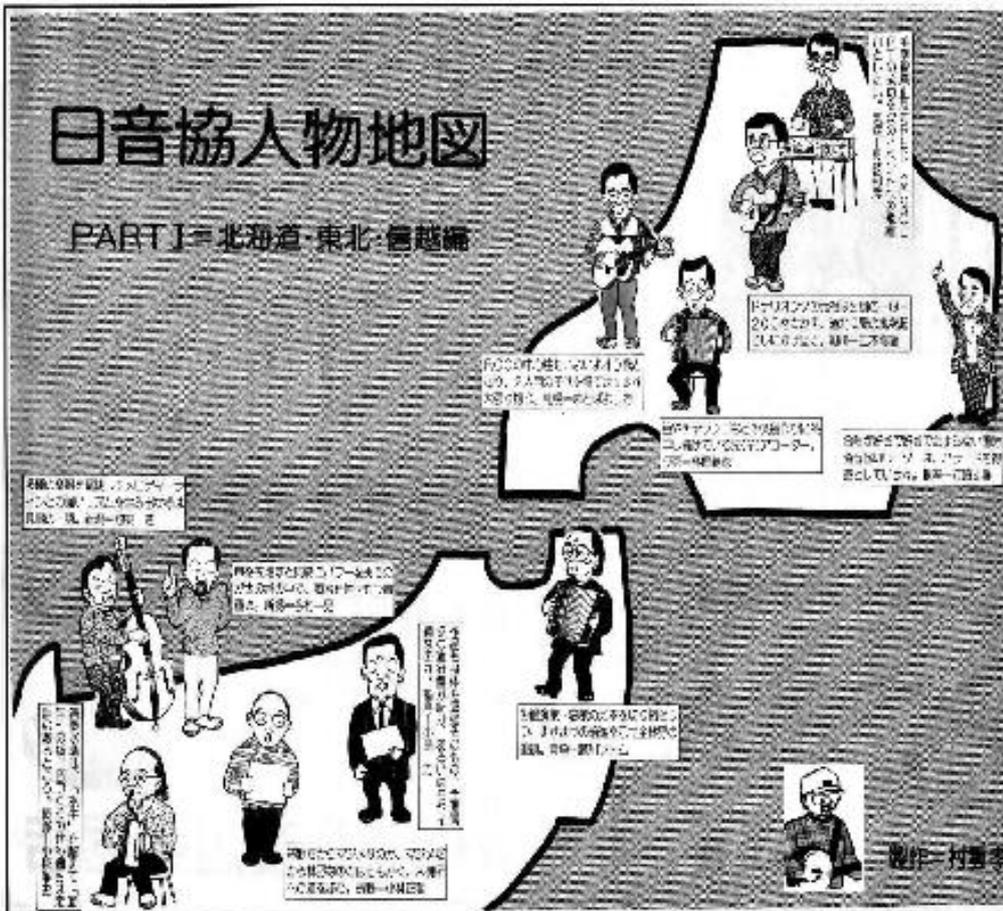
年表は3部になっていて、それぞれの年代の日音協の活動と国内外情勢が掲載されています。写真も沢山載っていて年配者はハズキルーペで見ながらゆっくり酒を飲めるでしょう。若者には歴史を知ってもらいたい教材です。

さて、これをどうしたものか、9月の祭典までに冊子にして配布しようか？ただいま検討中ではあります。

(磯野 宏之)

■編集部にも笠木さんから相談がありました。やっと編集を終えて、さて字体とか体裁とか最後の仕上げの相談でした。

ネットで原稿を送ってもらい、その苦勞の跡に脱帽、労作です。今号でのPDFは急ごしらえで申し訳ないのですが、皆さんの許へ完成品が届くよう期待しています。(佐藤)



FMカンパニー  
(日本音楽協議会北海道支部)

# 歌わせたい男たち

## 初の自主企画公演 今年の音楽祭は二度始まる



公演に向けて学習会

皆さん、今年の音楽祭、終了後の御予定はいかがでしょう。打ち上げも観光もいいですが、よかったら本格的な演劇を見て行きませんか？

私(おだ)は演劇を始めて33年になります。この間「はたらくものの音楽祭」でのシングルトリオのコントを始め、全国・東京青年団結集会での構成詩演出、逡巡演集での活動、そしてインプロ(即興演劇)の活動と歩みを進めてきました。多くの作品や舞台と出会ってきましたが、その中には正に労働者の「生活・労働・たたかい」を描いたものも多く、「これはぜひ、自分たちの手で日音協の仲間に見てもらいたい!」と思うようになりました。

ところが本格的な戯曲になると、それをやるにはどうしても90分~2時間かかってしまいます。とても音楽祭で上演できるようなものではありません。ならば、音楽祭2日目終了後、午後の時間に、音楽祭とは別の自主企画として公演を打とうと考えました。毎年音楽祭の2日目は13時過ぎに終了します。そこから昼食時間を挟んで、会場近くで演劇をやろう、そして日音協の仲間に見てもらおうというわけです。

1回目の今年は、以下の公演を行います。

永井愛「歌わせたい男たち」(約90分)

2019年9月16日(月祝)音楽祭終了後14:30開場、15:00開演(音楽祭終了後)@秋田ふれあい交流館AU ミュージック工房1(50席)(駅の近くです)一般3000円(音楽祭参加者は2500円)学割1000円

内容は高校教員の卒業式での「日の丸・君が代」不起立闘争についてです。男女それぞれ主役がいて、良心に基づいて「君が代」は歌いたくない、生徒たちに嘘を教えるわけにはいかない、と起立・歌唱を拒否する社会科教諭拜島と、彼に共鳴しつつも生活のために「君が代」の伴奏拒否はできないと考える音楽講師ミチル。拜島に何とか歌わせようとする校長と、彼の片腕とも言うべき英語教諭片桐。それぞれの葛藤とそこから生まれる魂のぶつかり合い。いくつもの演劇賞を総なめにした、見どころ満載の作品です。

さすがにこれはシングルトリオだけでやるわけにはいかず、役者仲間の中からキャストを選んで座組を作りました。プロを目指す若手俳優の迫力ある演技をぜひご覧ください。そして彼らを支えるべく、シングルトリオから私と青木美夢が出演します。

また音楽祭前に東京公演も行います。こちらは青木美夢は出ませんし、音楽祭割引もありませんが、本格的な小劇場での公演です。秋田とは一味違うものをお届けします。

2019年9月7日(土)16:00開演/19:30開演  
9月8日(日)14:00開演/18:00開演  
(計4ステージ96席)

@荻窪 i-Rego Garage(荻窪駅南口より徒歩1分)  
一般前売3000円 当日3500円 学割1000円

すでに練習は開始しています。初日は日教組埼玉の金子委員長を講師に迎え、不起立闘争についての学習会を行いました。全員すごい学習意欲で、早くも公演に向けて情熱がほとばしっています。

ご予約は [periodista901@yahoo.co.jp](mailto:periodista901@yahoo.co.jp) まで。よろしくお願ひします!

(東京都支部・おだかずや)



# 第6回ふれあい音楽広場に40人(千葉)



合唱団ミールの演奏

日音協千葉県支部は、6月30日、千葉県習志野市の京成労働会館で第6回ふれあい音楽広場を開催。40人が参加しました。

出演者は、京成吹奏楽団、村石俊也（ギター）、イッシー&ワッシー、アンサンブル・ディオ（アコーディオン合奏）、かつらぎ民話を語る会（紙芝居とうた）、砂川隆一（ギター）、飯島貞親（歌とジョークで権力を笑う）、小田嶋幸次（ハーモニカ）、合唱団ミール、反原発歌いたい。合唱団ミールは、「ミール・ソロ」として、メンバー一人ひとりがソロをうたうコーナーもありました。小田嶋幸次さんは、第35回はたらくものの音楽祭（千葉）で小田嶋ファミリーで演奏した「Sir Duke」ほかで、すばらしいハーモニカを聴かせてくれました。

閉会にあたり松本支部長があいさつに立ち、「若い人にもっと呼びかけて、来年もふれあい音楽広場を開催したい。時期は少し変わるかも知れないがぜひご参加を」と話しました。（松本敏之）

## たかが言葉 されど言葉

【音楽で表現するものとして、言葉の使い方には気をつけているつもりです。音楽運動の編集の際も同様です。松本会長も結構こだわりがあり、「子供」ではなく「子ども」を使うようにと指導されます。「〇〇の子供」という作品が出てきたらどうしよう、とビクビクしています。さて、NTT 労組の機関紙に「みんなの人権」というコーナーで連合副事務局長のコラムが掲載されていました。2019年6月22日号。全文転載させていただきます。みなさんも自分のこととして考えてみてください。】（編集部・佐藤）

子どもの携帯電話を買いに行った友人の話です。お店の人が何度も「奥さん」というので、耐えきれず「『お客さま』もしくは名前と呼ぶべきではないですか」と言ってしまった、と。

彼女はシングルマザー。子どもを連れた人が必ずしも誰かの妻ではないと怒っていました。

悪気なく使ったにせよ、不適切な言葉、人を傷つける言葉があります。差別用語についても多くの人が気にすることなく使っています。

実は差別用語と定められたものはなく、放送禁止用語として各社で示されているということです。ウィキペディアを引用すると、「他者の人格を個人的にも集団的にも傷つけ、蔑み、社会的に排除し、侮蔑・抹殺する暴力性を持つ言葉」のことをいう。具体的には、特定の属性（国籍、人種、少数民族、被差別階級、性別、宗教、同性愛者、障害者、特定疾患の罹患者、職業など）を持つ人々に対する否定的差別を意図して使用される俗語や表現を指し、侮辱するための蔑称を含む一。

「片手落ち」「めくら判」「つんぼ棧敷」「バカチョンカメラ」などが、こういう差別語であると知っているという人も、「ブラインドタッチ」は気にせず使っていたりします。

「特定の環境にある人を傷つける」ということに思いを致せば、「五体満足」「手短に話す」「舌足らず」「耳障り」などはもとより、例えば、「足の運び」や「目が肥える」等の身体に関する言葉も違う表現に変えた方がいい場面もあると思っています。

「嫁」やら「姑」「女こども」「女々しい」なども不適切です。

「障害をもつ」のではなく「障害がある」というのが適切とも言われます。「障害」の「害」も「がい」、もしくは「碍」と書くべきとも。

しかし、パラリンピック選手の自叙伝には、「障害をもつ」とありました。

「差別か差別じゃないかは相手にもよると思います。ちなみに私は身体障害者ですが全然気にしたことありません。害の字が嫌と考えている人にとっては差別と考えるかもしれないが、事実、健常者と違って障害はあるのですから今更障害者が障がい者になっても何も思いません」との意見を見たことも。

一方で、障害者を「害」と差別している人がいるから、問題提起するために、あえて「害」を使っているという障害者団体の方のお話を聞いたこともあります。

たかが言葉。されど言葉。相手の立場を尊重し、「この言葉、心に突き刺さっていないかしら」と、ちょっと考えられたらと思うのです。（連合副事務局長・山本和代）

# 歌の方が物語るもの 79

## 官邸前反原発行動 6/21 (351回) 報告: Roo・鈴木

参加者 瓦井、鈴木、葉子さん、達哉、スーさん、なべさん、民衆のうたの仲間ふたり「ミネッチ、森 計10名

災害の生活は元通りにはなっていない。なのに何がオリンピックだ！と、怒りは募る。国会議事堂に向かって叫んでしまった。

沖繩の慰霊の日の直前。お迎えの歌の後、『月桃』を歌った。平和の礎には、今年も新しい名前が刻まれたそう。朝鮮半島から徴用されていた犠牲者の名前も刻まれた。いまもなお、埋葬されない遺骨があり、刻銘しきれない犠牲者がいる。

この怒りを何の歌でぶつけようかと迷っていたら、スーさんが『DORE DORE』を選んでくれた。そして『私たちは許さない』へと続く。少し心を鎮めて、『あたりまえの地球』を歌う。警備の警察官が近くにいる。あなたはどっと思うの？と問いかけるつもりで歌った。

朝鮮半島出身者はさらに詳細が判らない。沖繩の戦争は終わっていない。なのになぜ、新基地が作られるのか。県民の意思が何度も示されているにもかかわらず。東日本大震災だってそう。原発被害もそう。被

(以上、Rooからの報告) 電車を乗り過してしまっ た鈴木は、『風車のうた』からの参加となっていました。 6月18日夜、震度6強の新潟での地震は震源が未発見活

# 水道橋 だより

▼東北新幹線に七戸十和田駅という駅がある。発着便数も乗降客も少ないが、開業以来、駐車場が無料だったこともあり、青森市からわざわざやってきて東京に向かう人もいるという。私の通勤途中の駅である。先日ふと降り立った。▼同じ構内に七戸町のふれあい交流センターがあった。広いホールにはヤマハのピアノが置かれていた。自由に弾いていいそうだ。ショパンの調べを奏でるマダム、トルコ行進曲を軽快に弾き上げた？おねえさん、「ネコぶんじゃった」を神妙に練習していた男の子、...ふと行き会った音楽風景であった。(佐藤)



断層の可能性があるこの事だ。まだまだ未発見活断層があるかも知れないと思うと恐ろしい。今日は急に来られなくなつた仲間から「原発やめて、地震による危険がたくさん、官邸前のみなさんに連帯して」とメールを頂いた。「J」地震大団日本には揺れないところはありやしない：原発にや明日は無い♪」の歌が浮かんで来た。茱萸坂の一角に並べられた反原発ポスターの中に、「東京に原発を造ろう」というものがあった。東京に原発を造るとなつたら、みんな反対するだろうにと思った。たんぼ舎前では、『風車のうた』『ここは俺たちのふるさと』『前へ！』『ジュン』の住む海』『原子力発電NO！』を歌った。「♪みどりの大地と、青い海、渡さないぞ」。その後、『たんぼ舎合唱団』にマイクを渡した。

「沖繩に行つて来たよ」と1人1人にお土産を渡してくれた。彼女の成長も私達の楽しみでもある。今日は、未来のための合唱の定例日だ。達哉君、森さん、葉子さん、「ミネッチは次の行動に向かった。

くり返される辺野古違法工事を許さない！6・24官邸前緊急行動 6月11日、沖繩防衛局は、造成を進めていたK8護岸から埋め立て用土砂の陸揚げを開始しました。これは、全く違法な作業であり、直ちに中止しなければいけない暴挙です。同護岸の周辺には移植すべき貴重なサンゴが生息しており、このまま作業が続くなら、サンゴが死滅することも考えられます。

そもそも、辺野古新基地の一部である護岸を埋め立て工事のための土砂陸揚げ棧橋に使うことは事前に提出された計画書にはなく、県からも中止を強く指導されていきました。一昨年から行っているK9護岸からの埋め立て土砂、石材の陸揚げ自身も違法であり、県から再三中止するよう指導を受けており、県が昨年行った埋め立て承認取り消し理由の一つでもありません。こうした県の指導を平然と無視し白昼堂々と違法な作業を続けている防衛局は、まるでならず者であり、沖繩に基地を強要する安倍政権のありようそのものです。

私たちは、くり返される政府・防衛省の違法で沖繩の民意を踏みにじる行為を断じて許すことは出来ません。この怒りを首相官邸にぶつけ、違法工事の中止を強く求めていきたいと思います。

(辺野古への基地建設を許さない実行委員会)

# どん行

(120)

飯島貞親

72位まで下げています。▼今度こそ現政権を退陣に追い込もう。

▼いよいよ参院選挙だ。▼トランプ大統領が8月の決着に言及した日米貿易交渉、首相が前提をつけずに首脳会談実現をめざすと述べた北朝鮮問題、金融庁審議会の報告書に端を発した年金問題、迎撃ミサイル「イーシス・アショア」をめぐる問題など、安倍政権は重要な課題は参院選後でないと明らかにしない姑息な姿勢を示している。沖繩辺野古新基地建設では住民意見を真摯に受け止めると言いながら工事を強行している。モリカケ問題では、何一つ問題点は明らかになってないのに野党が追及を続けると「もっと他に議論すべきことがあるだろう」との与党を利する声が出る始末だ。▼国会答弁ではまともに答えられず、「三本の矢」「女性活躍」「働き方改革」などスローガンを次々と並べ立て、そのほとんどは成果を上げていないにもかかわらず、「やっている感」だけが報じられている。▼内政も外交もほとんど政策目標を達しておらず、批判を封じるためにメディアに介入する。その結果、政権に対する批判的な意見はメディアから消えている。「国境なき記者団」が発表する「報道の自由度ランキング」では、2010年(鳩山政権時)の11位から、2017年には72位まで下げています。▼今度こそ現政権を退陣に追い込もう。